

事務事業名 文化財施設災害復旧事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1887

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	--
基本事業：	01	文化財の保護	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	市内の文化財指定件数		担当課	文化財課
			担当係	博物館・史跡整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
国指定史跡をはじめとする被災文化財			国史跡阿志岐山城跡（被災8箇所）、国史跡宝満山（被災7箇所、うち筑紫野市分6箇所）について、文化財調査、実施設計施工監理、復旧工事を行います。 土嚢積み、板柵による土留め、フトン簀等の設置など、詳細設計に基づき被災箇所に則した工法にて復旧を行い、復旧を行うことで、再度災害防止、遺構等への被害拡大防止、適切な管理道等の確保を図ります。 また、県指定武蔵のイヌマキ群については、被災した根回りの養生を行います。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			被災箇所の復旧を行い、文化財の管理を適正に行います。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
市内の文化財指定件数		件		37		38			
5. コスト									
事業費		計	千円	10,779	0				
		国	千円	7,491	0				
		県	千円	1,284	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
		一般	千円	2,004	0				
正職員人工数		人工							
正職員人件費		千円							
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		10,779	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<p>&lt; 状況 &gt; 平成30年6月28日～7月8日に発生した豪雨（平成30年7月豪雨）により、指定史跡の各所で土砂崩れ、倒木などの甚大な被害が発生しました。自然災害による文化財の被害を長時間放置した場合、二次災害や時間の経過に伴い破損が拡大することにより当該文化財の歴史的・学術的価値を損なう恐れがあることから、早急な復旧対応が必要です。</p> <p>&lt; 課題 &gt; 事業遂行体制の未整備、史跡地内の広域な範囲に災害が及ぶことや地権者との協議に不測の日数を要したことから</p>							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
史跡地内の広域な範囲に災害が及ぶことや地権者との協議に不測の日数を要したことから、当該年度内の事業完了が未了となり、翌年度に繰り越しました。 文化財調査については、平成31年3月に阿志岐山城跡のみ完了しています。					備考・特記事項 or 進行管理欄				